

専門医が 診る

日本褥瘡学会

茂木定之評議員

しげき・さだゆき 1956年津市山生まれ。80年広島大医学部卒。J.A広島島総合病院形成外科主任部長などを経て2013年4月から広島国際大総合ハピリテーション学部リハビリテーション支援学科教授。日本在宅褥瘡創傷ケア推進協会理事、広島県創傷ケア研究会代表世話人。褥瘡に悩む家族らの相談に年100件以上応じている。

て空気の出入りを調整し、庄
を逃がす効果が高い。体が蒸
れにくいものもあります。自
力で動け、肉厚な人にはウレ
タフフォームのマットレスを
使うなど、体の状態で使い分
けます。



褥瘡(床擦れ)

迫された部位の血流が止まり、皮膚や筋肉が壊死する
褥瘡(床擦れ)。寝たきりの人に多く、高齢者を介護する
人にとってやっかいな病気だ。形成外科医師で、日本褥瘡
学会の茂木定之評議員(広島市佐伯区)に治療法や予防策
を聞いた。

(余村泰樹)

い。一治療方法を教えてください。
褥瘡ができたら、まずは患部をぬるま湯で洗い、黒や黄色になつた壞死組織を取り除いてきれいにします。洗淨してきれいにします。壞死組織が取れることもありますが、こびりついている場合はさみやメスで除去します。タンパク質を分解する軟レッsing材を患部に張りますが、こびりついている場合はさみやメスで除去します。綿状やスポンジ状のものを用います。綿状やスポンジ状のものを用います。傷の回復を促す外用薬を塗ることも。傷を治すつとする体の自然な動きをサポートすることも。傷を治す細胞が弱ります。これが治療の基本です。

性能向上 マットレス活用

傷か筋肉にまで及ぶことがあります。細菌に感染して敗血病になり、最悪の場合、死んでしまうこともあるので油断は禁物です。

一軽症の場合はどうですか。

皮膚が赤みがかる発赤や腫れができる程度の軽い場合は、そのまま放つておいても1~3週間で治ります。たな
程度はどうあれ、原因を取り除くことが一番大切。そこだけができないと再びきます。

します。

物 痛出 張り 布張り ます。その部位に圧がかかり すい。その部位に圧がかかり 続けると、血流が止まり、組織が壊死します。

赤みを帯びた部位があれ ば、マットレスなどから30分離して様子を見ましょう。赤みが引かなければ、褥瘡の可能性があります。

一どうしたら防げますか。庄迫「それをなくすため、体の向きを変える体位変換なりと、体を受け止めるマットレス選びをきちんとすること」が重要です。

体位変換は特定の場所に庄迫「がかかるないよう、あおむけや横向きなど姿勢を変えます。また最近のマットレスの性 能向上は目覚ましい。寝たきりで動けず、栄養状態も悪い人にはエアマットレスが適しています。患者の体重に応じて

「今後は在宅介護がさらに増えそうです。体位変換が家族の負担になりませんか。」
昔のテキストには体位変換は2時間ごとに必要だと書かれていましたが、今はマップでレースの性能向上で2時間という説は崩れつつあります。皮膚をよく観察しながら、適切に体位変換しましょう。

また体位変換のとき、体にそれの力が生じるのを防ぐため、滑りやすいシートも登場しています。そういう道具をうまく活用しましょう。

→ ここがポイント

原因は耳の障害が原因で、耳の病気を治療します。塗り薬やドレッシング材を使つた傷の治療とともに、体位変換やマットレス選びなどを適切に行い、特定の場所に圧がかからぬ工夫が必要です。

褥瘡（床擦れ）について茂木医師への質問や相談を募集します。
〒730-8677中国新聞社文化部「専門医が診る」係まで。ファックス082(291)5828、メール

質問や相談事集

FILE21